

世界遺産

明治日本の産業革命遺産

製鉄・製鋼、造船、石炭産業

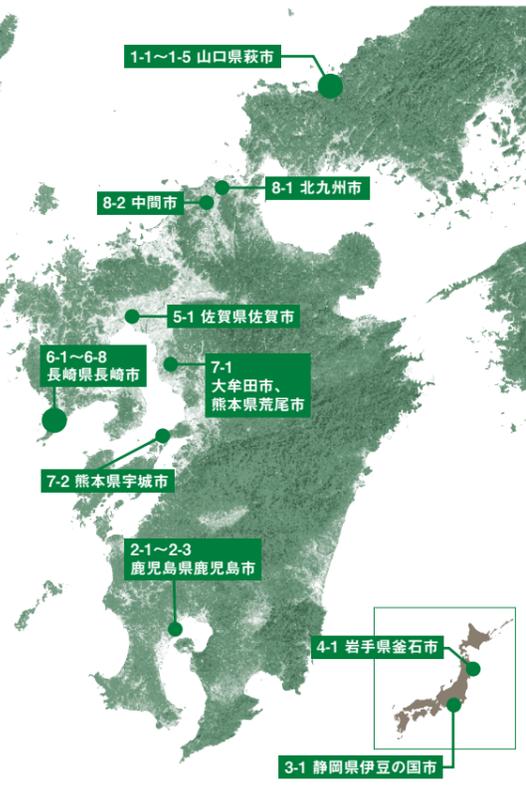
※右記のQRコードを読み取って頂くと「明治日本の産業革命遺産」公式ホームページへとジャンプします。



「明治日本の産業革命遺産」は、岩手県から鹿児島県まで8県11市に位置する8エリア23の資産で構成されており、資産全体で世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の価値を有しています。これを「シリアル・プロパティ(関連性のある遺産群)」と呼んでいます。

エリア1 萩	
1-1	萩反射炉
1-2	恵美須ヶ鼻造船所跡
1-3	大板山たたら製鉄遺跡
1-4	萩城下町
1-5	松下村塾
エリア2 鹿児島	
2-1	旧集成館
2-2	寺山炭窯跡
2-3	関吉の疎水溝
エリア3 葦山	
3-1	葦山反射炉
エリア4 釜石	
4-1	橋野鉄鉱山
エリア5 佐賀	
5-1	三重津海軍所跡

エリア6 長崎	
6-1	小菅修船場跡
6-2	三菱長崎造船所 第三船渠
6-3	三菱長崎造船所 ジャイアント・カンチレバークレーン
6-4	三菱長崎造船所 旧木型場
6-5	三菱長崎造船所 占勝閣
6-6	高島炭坑
6-7	端島炭坑
6-8	旧グラバー住宅
エリア7 三池	
7-1	三池炭鉱・三池港(宮原坑、方田坑、専用鉄道敷跡、三池港)
7-2	三角西港
エリア8 八幡	
8-1	官営八幡製鐵所(旧本事務所、修繕工場、旧鍛冶工場)
8-2	遠賀川水源地ポンプ室



問い合わせ先

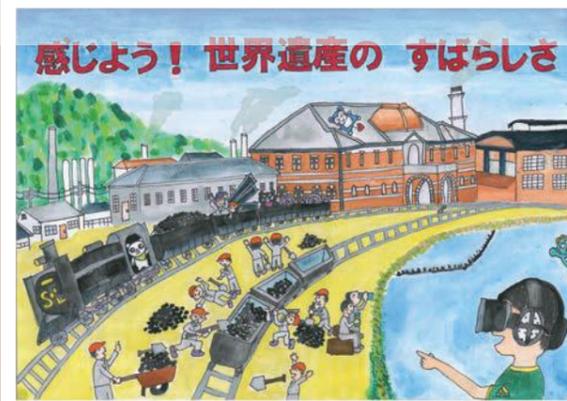
- 福岡県人づくり・県民生活部文化振興課世界遺産室 〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号 TEL:092-643-3162 FAX:092-643-3163
- 北九州市企画調整局政策部世界遺産課 〒803-8501 北九州市小倉北区城内1番1号 TEL:093-582-2922 FAX:093-582-2176
- 大牟田市企画総務部世界遺産・文化財室 〒836-8666 大牟田市有明町2丁目3番地 TEL:0944-41-2515 FAX:0944-41-2552
- 中間市世界遺産推進室 〒809-0001 中間市大字垣生660番地1 TEL:093-245-4665 FAX:093-244-1113

(令和2年4月発行)

世界遺産

明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業

福岡県ガイドブック



日本は、19世紀の半ばから20世紀の初頭にかけて、西洋の技術や機械を取り入れ、驚くべきスピードで産業化を成し遂げました。これほど短期間に産業化が成功したことは、非西洋諸国では初めてのことで、その中心となった産業が、重工業分野における製鉄・製鋼や造船とそのエネルギーとなる石炭産業でした。

産業化の歩みは、西洋の技術本を手本にした鉄製大砲製造への挑戦や洋式船の模倣から始まり、次に外国人専門家から西洋の技術が直接導入されました。その後、国内の人材が育成され、積極的に導入した西洋の技術を国内需要に適合するように改善、改良を加え、工業立国の土台を築きました。

8県11市にまたがる8エリア23の構成資産から成る「明治日本の産業革命遺産」は、世界史における類いまれな産業化の局面を証言する遺産として、2015(平成27)年7月に世界遺産に登録されました。

福岡県には、「三池エリア」(石炭産業:大牟田市)、「八幡エリア」(製鉄・製鋼:北九州市、中間市)があります。

三池エリア (三池炭鉱・三池港)

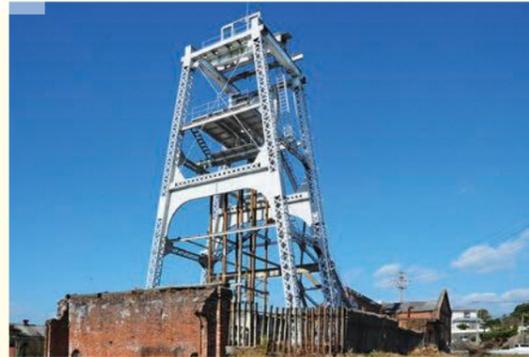
三池炭鉱・三池港を構成する資産

所在地 時間 開場時間 休 休場日 入 入場料 ア アクセス 駐 駐車場 問 問い合わせ先

三池炭鉱宮原坑 (国重要文化財/国史跡)

1898 (明治 31) 年開坑。年間 40 ~ 50 万トンの石炭を採炭する坑口であったとともに、坑内排水という大きな役割を担っていました。現在は、第二豎坑の施設 (日本最古の鋼鉄製やぐら、巻揚機室、デビーポンプ室壁、排水路など) が残っています。

所 大牟田市宮原町1-86-3 **時** 9時30分~17時 (入場は16時30分まで) **休** 毎週月曜日 (祝日・休日の場合はその翌平日)、12月29日~1月3日 **入** 無料 **ア** 車/九州自動車道「南関インターチェンジ」から約20分、電車・バス/JR・西鉄「大牟田駅」下車、西鉄バス「大牟田駅前」乗車・「早鐘眼鏡橋」下車、徒歩約10分 **駐** あり (大型車駐車可) **問** 大牟田市観光おもてなし課 : TEL 0944-41-2750 / FAX 0944-41-2764



三池炭鉱専用鉄道敷跡 (国史跡)

各坑口や工場、港を結び、石炭や炭鉱資材、炭鉱マンやその家族などを運んでいました。1905 (明治 38) 年に全線開通。最盛期には、引込線、支線をあわせ、総延長 150 km にも達しました。 ※宮原坑から見学できます。



三池港

遠浅で干満の差が大きい有明海で、干潮時でも一定の水位を保てるよう、閘門を備えた人工の港です。1908 (明治 41) 年に築港され、運搬 (輸出) の効率が飛躍的に向上しました。今なお福岡県の重要港湾として稼働中です。



[非公開施設 写真提供/大牟田市広報課]

三池港を見学するなら

三池港展望所

ハチドリ形の形をしているともいわれる三池港の特徴である閘門施設と船渠を見ることができます。また 1 月と 11 月には、航路から閘門を通過して一直線に夕日が沈む「光の航路」が出現します。

所 大牟田市新港町1 **時** 9時30分~17時 (入場は16時30分まで) **休** 毎週月曜日 (祝日・休日の場合はその翌日)、12月29日~1月3日 **入** 無料 **ア** 車/九州自動車道「南関インターチェンジ」から約25分、電車・バス/JR・西鉄「大牟田駅」下車、西鉄バス「大牟田駅前」乗車・「三川町一丁目」下車、徒歩約5分 **駐** あり (大型車駐車可) **問** 大牟田市観光おもてなし課 : TEL 0944-41-2750 / FAX 0944-41-2764



三池港閘門視观点

閘門を間近に見ることができる施設です。日や時間が限られていますが、ここから閘門が開閉する様子を見ることができます。また、ここには「明治日本の産業革命遺産」が世界遺産に登録されたことを記念する記念銘が設置されています。

所 大牟田市新港町 **ア** 車/九州自動車道「南関インターチェンジ」から約25分、電車・バス/JR・西鉄「大牟田駅」下車、西鉄バス「大牟田駅前」乗車・「三池港」下車、徒歩すぐ **駐** あり (大型車駐車可) **問** 大牟田市観光おもてなし課 : TEL 0944-41-2750 / FAX 0944-41-2764



旧長崎税関三池税関支署 (国史跡)

明治期の洋風建築の姿を残す旧長崎税関三池税関支署は、明治41 (1908) 年、三池港の開港と同時に開庁しました。木造瓦葺き、平屋建ての建物で窓は上下開閉式。内部の電灯を吊るす天井の一部には彫り込みのある木製の円形飾りがあり、当時の姿を見ることができます。三池港が輸出入港であったことを示す重要な施設です。

所 大牟田市新港町 **開** 毎週土曜日・日曜日・祝日 (年末年始を除く) **時** 9時30分~17時 (入場は16時30分まで) **入** 無料 **ア** 車/九州自動車道「南関インターチェンジ」から約25分、電車・バス/JR・西鉄「大牟田駅」下車、西鉄バス「大牟田駅前」乗車・「三川町一丁目」下車、徒歩約8分 **駐** あり (大型車駐車可) **問** 大牟田市観光おもてなし課 : TEL 0944-41-2750 / FAX 0944-41-2764



三池炭鉱・三池港を詳しく知るなら

大牟田市石炭産業科学館

日本の近代化を支えた三池炭鉱の豊富な資料をはじめ、エネルギー資源について楽しく学べる展示が盛りだくさんです。特に地下400mの坑内を再現した「ダイナミックトンネル」は必見です。

所 大牟田市岬町6-23 **時** 9時30分~17時 **休** 毎週月曜日 (祝日・休日の場合はその翌平日)、12月29日~1月3日 **入** 一般/420円、4歳から中学生/210円、3歳以下/無料 **ア** 車/九州自動車道「南関インターチェンジ」から約25分、電車・バス/JR・西鉄「大牟田駅」下車、西鉄バス「駅西口」乗車・「イオンモール大牟田」下車、徒歩約8分 **駐** あり (大型車駐車可) **問** 大牟田市石炭産業科学館 : TEL 0944-53-2377 / FAX 0944-53-2340 / ホームページ <http://www.sekitan-omuta.jp>



八幡エリア (官営八幡製鐵所)

官営八幡製鐵所を見学するなら

所在地 時 開場時間 休 休場日 入 入場料 ア アクセス 駐 駐車場 問 問い合わせ先

官営八幡製鐵所旧本事務所眺望スペース

世界遺産の構成資産「官営八幡製鐵所関連施設」は、現在も操業している製鐵所構内に立地しているため一般には公開されていませんが、官営八幡製鐵所旧本事務所については外観が眺望できるスペースを整備しています。また、場内には解説案内板や創業当時の古写真などを展示しています。VRで旧本事務所の中を歩く疑似体験もできますので、世紀を超えた産業景観とともにぜひお楽しみください。



所 北九州市八幡東区東田5丁目 **時** 9時30分～17時(入場は16時30分まで) **休** 毎週月曜日(祝日・休日の場合はその翌平日、12月29日～1月3日) **入** 無料 **ア** 車/北九州都市高速「枝光ランプ」から約3分、電車/JR「スペースワールド駅」下車、徒歩約7分 **駐** あり(無料・大型車駐車可) **問** 北九州市世界遺産課:TEL093-582-2922/FAX093-582-2176



修繕工場

1900(明治33)年、製鐵所で使用する機械の修繕、部材の制作加工等を行う目的で、ドイツのグーテホフヌクスヒュッテ (GHH.) 社の設計と鋼材を用いて建設された現存する国内最古の鉄骨建造物です。創業から120年以上経過した現在でも稼働を続けている工場です。



[非公開施設 写真提供/日本製鉄(株)九州製鐵所]

旧鍛冶工場

1900(明治33)年に、製鐵所建設に必要な鍛造品の製造を行う目的で、修繕工場と同様、ドイツのグーテホフヌクスヒュッテ (GHH.) 社の設計と鋼材を用いて建設された鉄骨建造物です。製鐵所の拡張にともなって増築・移築された後、製品試験所として使用されました。稼働中の構内にあるため公開されていません。



[非公開施設 写真提供/日本製鉄(株)九州製鐵所]

官営八幡製鐵所を詳しく知るなら

北九州イノベーションギャラリー

北九州イノベーションギャラリーは「産業技術」に関する展示・体験施設で、北九州市および日本の発展を支えてきた、ものづくりの技術やイノベーションを学び身近に体験することができます。館内には企画展示ギャラリーのほか講演会やセミナーに使うスタジオなどがあり、デザインや技術に関するイベントや講座を定期的に開催しています。また世界遺産「明治日本の産業革命遺産」のビジターセンターとして、官営八幡製鐵所の関連施設をパネルで紹介する無料展示スペース「官営八幡製鐵所展示ギャラリー」を開設しています。



所 北九州市八幡東区東田2-2-11 **時** 平日/9時～19時、土・日・祝日/9時～17時 **休** 毎週月曜日(祝日・休日の場合はその翌平日)、年末年始※夏休み期間中や年末年始は、年度により休館日が異なります。 **入** 無料※企画展は有料です。 **ア** 車/北九州都市高速「枝光ランプ」から約3分、電車/JR「スペースワールド駅」下車、徒歩約5分 **駐** 東田博物館ゾーン共同駐車場(有料)を御利用ください(大型車駐車可) **問** 北九州イノベーションギャラリー:TEL093-663-5411/FAX093-663-5422/ホームページ <http://www.kigs.jp>



官営八幡製鐵所を構成する資産

旧本事務所

官営八幡製鐵所創業2年前の1899(明治32)年に竣工した初代本事務所です。中央にドームを持つ左右対称形の赤煉瓦建造物で、長官室や技監室、外国人顧問技師室などが置かれました。稼働中の構内にあるため非公開ですが、眺望スペースから外観を見ることができます。



[非公開施設 写真提供/日本製鉄(株)九州製鐵所]

八幡エリア (遠賀川水源地ポンプ室)

遠賀川水源地ポンプ室を見学するなら

所在地 時間 開場時間 休 休場日 入 入場料
 アクセス 駐 駐車場 問 問い合わせ先



遠賀川水源地ポンプ室眺望スペース

遠賀川水源地ポンプ室は、現在も操業している製鉄所構内に立地しているため、一般には公開されていませんが、外観を眺望できるスペースを設置しています。眺望スペースには解説案内板やモニュメントが設置され、近年までポンプ室内で実際に使用されていた電動ポンプも近隣に展示されています。

所 中間市土手ノ内1-3-1 (県道73号歩道沿い) **時** 常時見学可能。(ガイドは土・日曜日、祝日のみ10時から16時まで常駐) **入** 無料 **ア** 車/九州自動車道「鞍手インターチェンジ」から約20分、電車/JR「筑前垣生駅」下車徒歩約20分、筑豊電鉄「希望が丘高校前駅」下車徒歩約10分 **駐** 普通車/中間市役所前河川敷駐車場を利用(徒歩約10分)、大型車/遠賀川水源地ポンプ室前駐車スペースに駐車可(要予約) **問** 中間市世界遺産推進室: TEL093-245-4665/FAX093-244-1113



遠賀川水源地ポンプ室

遠賀川水源地ポンプ室

遠賀川水源地ポンプ室は、官営八幡製鐵所の鋼材生産量倍増を目指す第一期拡張計画に伴い、遠賀川から製鐵所へ工業用水を送るため、1910(明治43)年に操業を開始しました。赤煉瓦造の建屋には、アクセントとして鋳滓(こうさい)煉瓦が使用され、内部にはアーチ状の柱や円形の窓が配置されています。建設当初はイギリス製の蒸気エンジンポンプと動力源であるボイラーが導入されましたが、その後設備は電動化されました。操業から100年以上経った現在も変わることなく鉄鋼づくりのための水を送り続けています。ポンプ室建屋は、稼働中の構内にあるため非公開ですが、眺望スペースから外観を見ることができます。



[非公開施設 写真提供/日本製鉄(株)九州製鐵所]

遠賀川水源地ポンプ室を詳しく知るなら

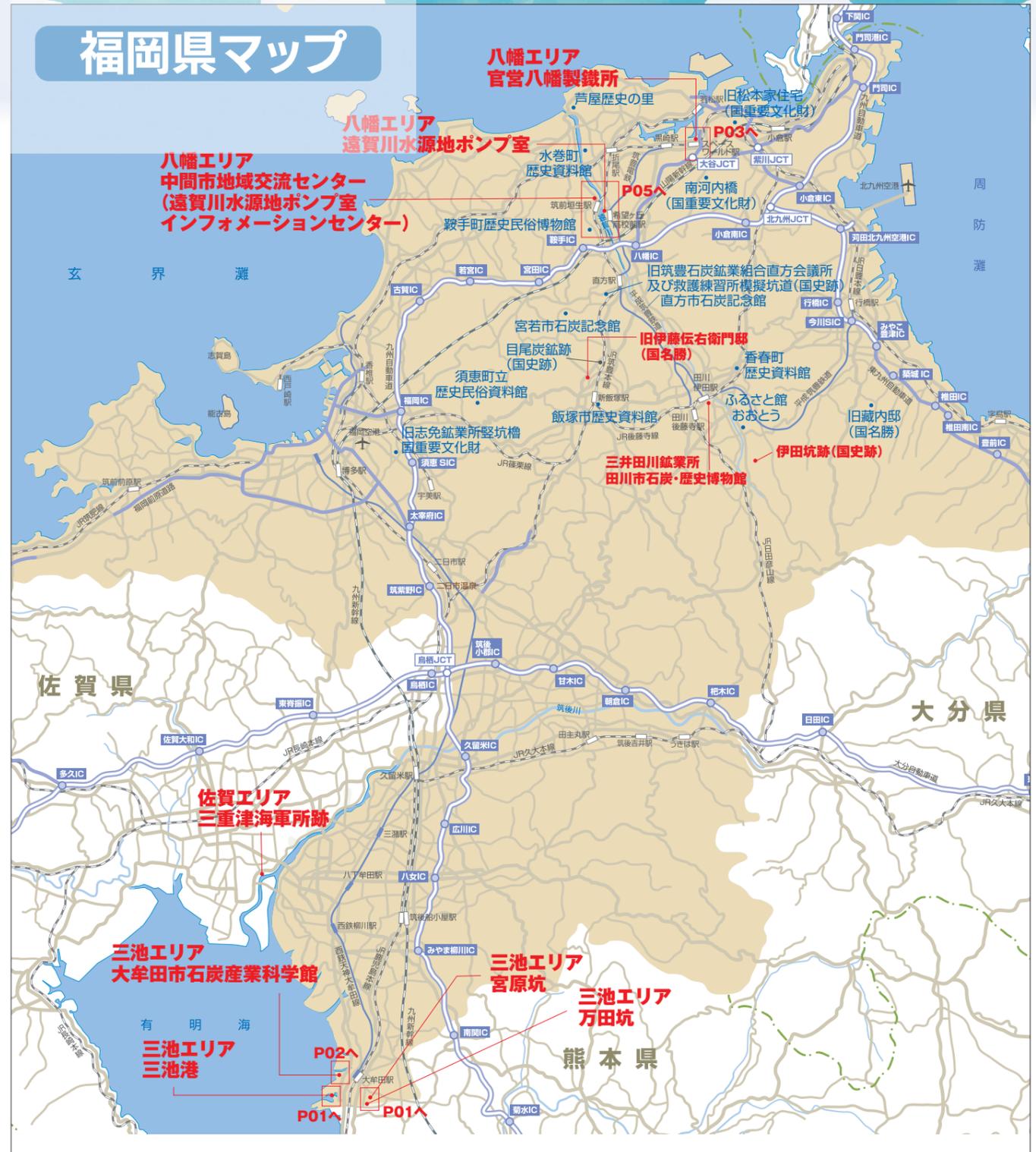
遠賀川水源地ポンプ室インフォメーションセンター

遠賀川水源地ポンプ室の古写真や復元模型、出土した煉瓦など、詳しい資料を展示しています。また、非公開のポンプ室内部の映像も見ることができます。併設の物産館「新鮮市場さくら館」ではお買い物も楽しめます。

所 中間市垣生660-1 中間市地域交流センター内 **時** 9時~18時 **休** 毎週火曜日(祝日・休日の場合はその翌平日)、12月29日~1月3日 **入** 無料 **ア** 車/九州自動車道「鞍手インターチェンジ」から約15分、電車/JR「筑前垣生駅」下車、徒歩約5分 **駐** 普通車/駐車可、大型車/中間市木杉記念球場に駐車可 **問** 中間市世界遺産推進室: TEL093-245-4665/FAX093-244-1113



福岡県マップ



「明治日本の産業革命遺産」おすすめドライブコース

八幡エリア

- 北九州イノベーションギャラリー
- 官営八幡製鐵所旧本事務所眺望スペース
- 中間市地域交流センター (遠賀川水源地ポンプ室インフォメーションセンター)
- 中間市役所前河川敷駐車場
- 遠賀川水源地ポンプ室眺望スペース

三池エリア

- 大牟田市石炭産業科学館
- 三池炭鋳宮原坑・専用鉄道敷跡
- 三池港展望所
- 三池港閘門視点場
- 旧長崎税関三池税関支署

